

摂津市の水道水は

安心して飲めます

上下水道部
HPはこちら



私たちが毎日使っている水道水がどのようにして家庭に届くのか、知っていますか？市の水道水は、定期的に検査して安全性を確保していますので、安心して飲むことができます。 **問合せ** 水道施設課へ



定期的な水質検査を実施

市は、毎年水質検査計画を作成し、水源・浄水場・送水所・給水栓（蛇口）の3段階で水質検査を行っています。水質基準項目51項目のうち、37項目は太中浄水場で、14項目は、大阪広域水道企業団に委託して検査を行っています。加えて、有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）も同企業団に委託して、定期的に検査を行っています。

水質基準以外にも水道水質管理上注意喚起すべき項目である、水質管理目標設定項目の検査を20項目実施しています。この項目の1つである農薬検査については、115種類の

検査を行い水道水の安全性を確認しています。

また、水質自動監視設備（水質モニタ）では、水質検査とは別に濁度、色度、pH値、残留塩素などを24時間365日休まず監視しています。

今後も安心して飲める水を皆さまへ届けます

淀川と地下水の2つの水源の水質は異なりますが、どちらも適切な水処理を行い、厳しい水質基準を満たしています。

水は私たちの生活に欠かせない資源です。これからも皆さまが安心して使える水道水を届けていきます。

水質検査の流れ

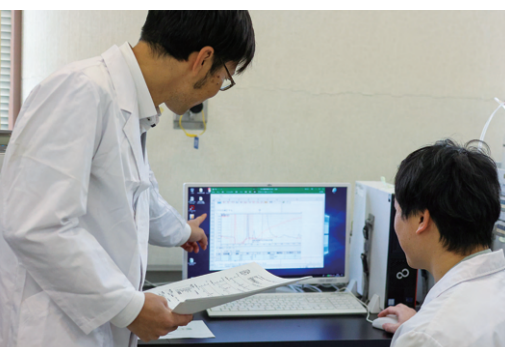
1 毎月、市内8カ所（水源・浄水場・送水所・給水栓）で採水しています。（写真は太中浄水場での様子）



2 採水した水を高度な分析機器で検査します。（写真はトリハロメタンなどの微量な化学物質を検査する様子）



3 検査結果を解析し、水質基準に適合した安全な水道水であることを確認します。



家庭に届くまでの水道水の旅

市内の水道水は、淀川の水と地下水の2つの水源から作られています。淀川の水は、大阪広域水道企業団の三島浄水場で、オゾンや活性炭処理などにより、浄化した水道水です。地下水は、太中浄水場にある150mから200mの深井戸の地下水を利用しており、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル分が豊富な水道水です。

JR京都線の北側、市役所周辺、安威川以南区域は淀川、それ以外の区域は淀川と地下水から作られた水道水を利用しています（下図参照）。2つの水源を確保し、漏水や災害時に備えています。

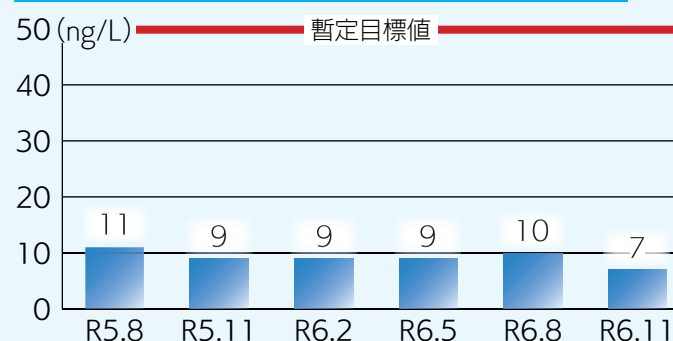


水質モニターで水道水に異常がないか 24 時間 365 日監視

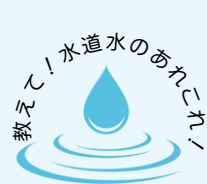
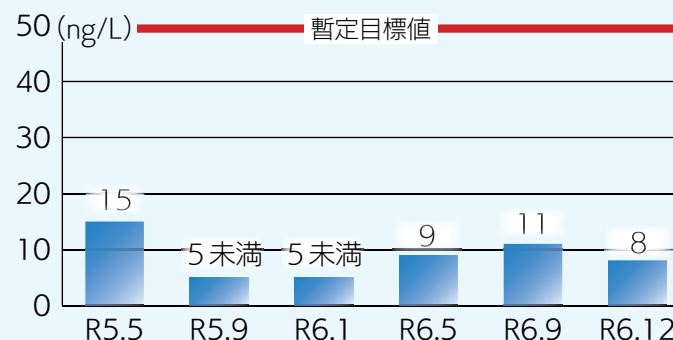
水道水は PFOS・PFOA の目標値をクリアしています

淀川と地下水のいずれも、国の定める暫定目標値 50ng/L（1リットルあたり 50 ナノグラム）を大幅に下回っています（下表参照）。この目標値は「体重 50kgの人が、一生涯にわたり 1 日 2 リットルの水を飲用しても健康への悪影響がないと考えられる濃度」として設定されています。

大阪広域水道企業団の PFOS・PFOA の合算値



太中浄水場の PFOS・PFOA の合算値



皆さんから寄せられる
疑問にお答えします！

Q

水道水にも PFOS や PFOA が含まれているって聞けけれど、どのようなもの？

A

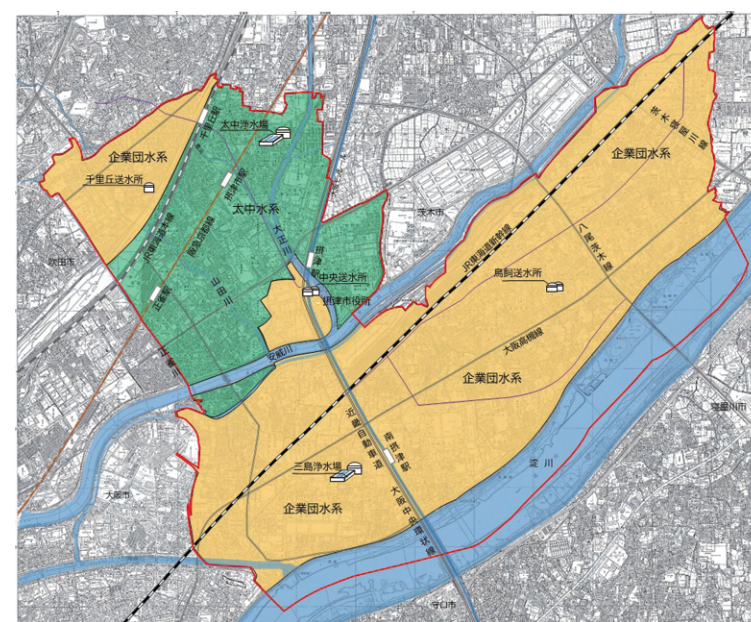
人工的に作られた有機フッ素化合物の一種で、泡消火剤やコーティング剤などに使われていました。現在は製造、輸入が原則禁止されています。

Q

水道水の PFOS や PFOA の濃度が
高くなってきたらどうするの？

A

井戸や給水栓（蛇口）の水を定期的に検査しています。暫定目標値に近づいた場合は、検査回数を増やし、濃度が高い井戸の運用を停止することになっています。



水系 / 水源		配水区域
企業団水系	淀川	鳥飼上、鳥飼銘木町、鳥飼中、鳥飼新町、鳥飼八町、鳥飼下、鳥飼本町、鳥飼野々、鳥飼八防、鳥飼西、安威川南町、三島一丁目、三島二丁目、別府、東別府、南別府町、一津屋、東一津屋、西一津屋、新在家、鳥飼和道、千里丘、千里丘新町
	淀川 + 地下水	千里丘東、庄屋、香露園、昭和園、桜町、学園町、鶴野、三島三丁目、南千里丘、東正雀、正雀、正雀本町、阪急正雀、北別府町、浜町